

青野山県立自然公園 地倉沼(津和野町)

Nature of Shimane

# しまねの自然

目次	エコツーリズムの取り組み.....	2
	北の原お散歩ツアー.....	3
	波佐地区ホテル生息地.....	3
	各地で開催された自然観察会.....	4~5
	自然公園利用者数の推移.....	4
	世界KODOMOラムサール会議.....	5
	自然保護関係表彰受賞者の紹介.....	6
	自然公園指導員活動レポート.....	6
	災害復旧進む自然公園.....	7
	オニバスの保護活動.....	6
	みんなで調べる島根の自然調査.....	7
	自然環境整備交付金活用による施設整備.....	7
	ロケ地となった自然公園.....	8
	違法採取相次ぐ.....	8

発行／島根県自然公園協会

# エコツーリズムの取り組みについて

鳥根県では、地域の自然観光資源などに触れてもらいながら、自然保護の意識を育てる、自然環境に配慮した旅行－いわゆる「エコツーリズム」－の推進に取り組んでいます。

私たちの身近にある地域の自然・歴史・文化・慣習といったものが、意外にも来訪者に感動を与えていることがあります。有名な観光資源だけではなく、普段、何気なく接している自然や生活文化、地域の歴史などもエコツアーの対象であり、観光資源となり得るのです。

一例をあげると、県内各地に存在している巨樹・巨木には、古くから伝わる言い伝えや歴史があります。来訪者は、ツアーガイドから自然や樹木だけでなく、地域の歴史やそこに暮らす人との関わりや言い伝えを学ぶことで感動を得ます。それが観光資源となり、新たな来訪者を呼ぶことにつながります。



巨木と自然を訪れる旅



ツアーを楽しく魅力的なものにするには、ツアーガイドの語り方、進め方が大きな要素の一つになります。また、受入地の対応「ホスピタリティ」(もてなし)が印象に残るツアーをつくります。小さな町や村であっても、地域の取り組み方一つで大型観光地にも負けない満足感を与える旅にすることができるのです。エコツーリズムは、人に感動を与えることでリピーターを生み、地域の良さが人づてに広まることによって、地域振興・観光振興に寄与すると言えるでしょう。

## エコツーリズムの勉強会

平成20年度は、県内の様々な自然観光資源の情報や、それらを組み合わせ合わせたツアールート案を旅行業者に提供し、旅行業者の主権によるツアーが各地で催されました。各地域には、ツアーの結果や課題・反省点を紹介し、新たな観光のあり方を提案しました。こうした中、従来型の観光に加えてエコツーリズムに取り組もうとする地域も現れました。津和野町では、11月25日にエコツーリズム協議会が設立され、エコツーリズムの取り組みに向けた検討が地域ぐるみで行われています。



中国一のタブノキ(雲南市)

今後も旅行業者等に対しツアー誘致を積極的に行ったり、地域で行われている様々なツーリズムと連携を図りながら、そこに環境保全の視点を組み入れるなどにより、エコツーリズムの可能性を探っていこうと思います。

平成20年4月、エコツーリズム推進法が施行され、全国的にもエコツーリズムへの気運が高まっています。郷土を見つめ直す事業「エコツーリズム」の取り組みを通じて地域の宝を将来に継承するとともに、活力ある町づくりをしましょう。



唐音の蛇岩(益田市)



日本一のスダジイ(松江市)



自然観察会というと、ちょっと堅苦しい感じがして、気軽に自然を楽しみたいと思っている方には、敷居が高いものかもしれません。そこで、三瓶自然館では、難しいことはあまり考えずに、緑豊かなフィールドに親しんでいただけるように、毎週土曜日に「北の原お散歩ツアー」を開いています。季節の草花をはじめ、さまざまな生き物や三瓶山のおいたちなどをスタッフが紹介しながら、三瓶山の草原をゆっくりと散策します。三十分程度と短かいので、ちょっとした運動にもちょうど良い時間ですよ。これからの季節は、三瓶山の春の使者、オキナグサがその可憐な姿で出迎えてくれます。春の息吹があふれる三瓶山に、出かけてみませんか？



お散歩ツアー



オキナグサの花

## 新規選定地域の紹介 ～波佐地区ホタル生息地～



ほたる湯館

浜田市内より国道186号線を広島方面に20分程度向かうと右手に「波佐温泉ホタル湯館」があります。ここを起点に隣接して流れる周布川の上流約2kmまでの範囲を、平成20年3月、「みんなで守る郷土の自然」に選定しました。

山紫水明の自然環境に恵まれたここ波佐地区には、昔から天然のゲンジボタルがたくさん生息していました。ところが、生活様式の変化や豪雨災害や河川環境の変化などによりホタルが年々減少していきました。そのような中、「昔のようなホタルが乱舞する自然環境にしよう！地域活性化に結びつけよう！」というこ

とから、地元の有志5

人によりゲンジボタルの保護と増殖・研究の取り組みが始まり、平成13年9月には、「波佐ホタル同好会」が結成され、ホタル増殖施設の整備や「波佐ホタル祭り」等様々な活動が行われました。

これらの地道な活動によって、年々ホタルが増加、今では、県外からもたくさんの方のホタル見物客が訪れるようになりました。毎年、6月頃ゲンジボタルの乱舞が見られます。幻想的な光景を是非一度ご覧になりませんか。

(近くには巨木のある常盤山八幡宮、旧参勤交代路である笠松峠の石畳路など見処が沢山あります。)



選定地域の看板



ホタルの住む周布川



選定地域の場所

## 「龍頭ヶ滝」薬用植物観察会(江津市)

江の川周辺には豊かな自然があふれて、そこには私たちの祖先が食用や薬用に利用してきた植物がたくさんあります。江津市では、山野の忘れられつつある身近な植物に目を向けてみよう



薬用植物観察会

と、昨年(2023年)の10月25日(土)江津市桜江町の龍頭ヶ滝で、薬用植物観察会を開催しました。

観察会には45名の参加があり、「豊富な植物相を知り隊」、「薬用植物について解説してもらい隊」の2グループに分かれ、高さ60mの滝を目指して谷川沿いの遊歩道を散歩しました。はじめのグループは70種以上の植物を見つけ、薬膳料理次のグループはオオハコ、イノコヅチなど薬効のある植物について学びました。

観察会終了後は、地元の山野草をふんだんに盛り込んだ、川越食生活改善委員さん手作りの薬膳料理をいただきました。おいしい料理に舌鼓を打ちながら、地元で採れる季節の食材が健康を育む基本であることを再確認しました。身近にある薬木や食用にできる野草をよく知り、利用することは自然を大切にすることにつながります。故郷の恵みに感謝するかけがえのない一日となりました。



薬膳料理

## 亀嵩川「水辺の観察会」(奥出雲町)

亀嵩地区福祉振興協議会環境部では、毎年川の水質調査と「水辺の観察会」を地区の児童たちと一緒にを行っています。環境部員が亀嵩川に流れ込む17の支流の、あらかじめ定めた



水辺の観察会

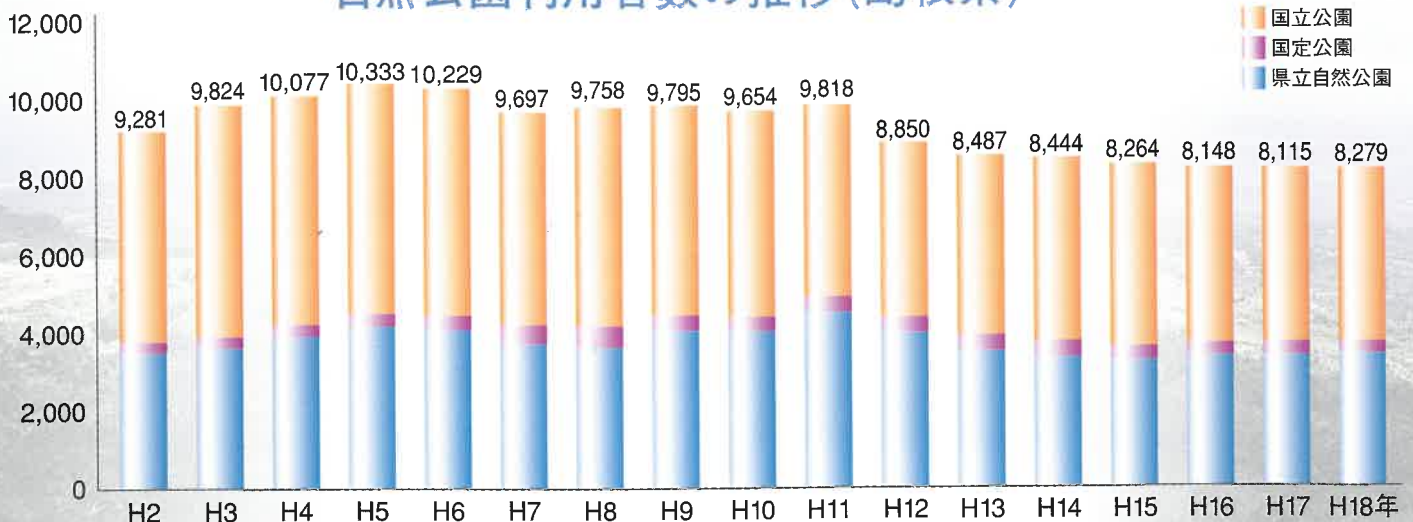
取水地点から水を採取しておき、観察会当日児童たちと一緒にその水のCOD(科学的酸素要求量)を調べて記録しています。また、川に棲息する水中生物を採集し、その生態から水の汚れの程度を調べています。

いずれ、数年間のデータをグラフにして地区の文化祭で展示し、住民の水質汚染防止の意識啓発に役立てたいと思っています。また子供と大人が一緒になって川で遊ぶことを通して、川の魅力と川の環境を守ることの大切さを大人・子供双方に感じ取って貰えたらと願っています。



親子で学ぶ

## 自然公園利用者数の推移(島根県)



注)利用者数の集計は暦年による。国立公園、国定公園は、いずれも島根県内の利用者数を計上したもの。



## 安蔵寺山で「キノコ学習会」(津和野町)

昨年の11月16日(日)、津和野町で「キノコ学習会」が開催されました。

会場は、直径1mを超えるブナの原生林が残り登山愛好者が増加している西中国山地国定公園の安蔵寺山(1263m)です。

悪天候となったため、参加者は申し込みの約半数になりましたが、町内、益田市、浜田市、山口市などから20人が参加しました。

最初にキノコの特徴について講師の話聞いた後、2つのグループに分かれ、講師の指導によりキノコを探して藪の中を歩きました。小雨のため視界と足元が悪かったものの、ナメコやヒラタケ、ムキタケ、ブナハリタケ、ヤマブシタケなどが採取されました。また、ニガクリタケやツキヨタケなどの毒キノコについても学習しました。

最後に、採取したキノコを分類しながら見分け方を再確認し、キノコの調理方法や保存方法についての話を聞いて、キノコについての知識を深めました。



採取したキノコの分類

## 復活しました! コウヤマキ自生林観察会(吉賀町)

吉賀町コウヤマキ自生林は、島根県自然環境保全地域に指定されている珍しい生態系をもつ地域です。自然観察会は、コウヤマキ自生林内を講師とともに、植物や動物の話などを聞きながら散策していきます。講師の説明が分かりやすくおもしろいことはもちろんですが、散策の後に振舞われるおにぎりをほおばりながらの懇親も魅力のひとつです。

平成元年から行っている観察会ですが、実は平成19年はお休みをしました。この観察会の参加者はリピーターが多く、復活を待ち望む声が多数寄せられ平成20年、恒例の8月最終日曜日に復活開催となりました。一年休んだことで参加者数の減少などが心配でしたが、100人程度の参加者が集い、大いに盛り上がりました。



開会式の様子



講師の説明を聞く参加者

## 「世界子どもラムサール会議(韓国)」に島根の中学生が参加

宍道湖・中海がラムサール条約湿地に登録されてから3年が経ちました。この間、全国各地の湿地で日頃から活動する子どもたちが集い、交流したKODOMOラムサール全国湿地交流の開催や、宍道湖沿岸でのヨシ植栽など、未来を担う子どもたちによる活動が活発になってきました。

昨年10月には、韓国昌原市で開催された「第10回ラムサール条約締約国会議COPI0」の協賛イベントとして、「世界子どもラムサール会議」が同市で開かれ、島根県からも中学生2名を派遣しました。これまでに締約国会議が開かれた8カ国と日本、韓国から合計60名の子どもたちが集まり、各国の湿地の状況を紹介し合ったり、体験活動などを通して、交流を図りました。

島根から参加した2人は、帰国後この会議の様子を知事へ報告し、「この経験を活かして、ラムサール条約湿地である宍道湖・中海を世界中に広めたい」と今後の目標も述べてくれました。



締約国会議が開かれた会場



知事と参加者の記念写真



## 自然保護関係表彰受賞者の紹介

多年にわたって自然保護の普及啓発等に貢献され、この功績により平成20年度中に表彰を受けられた個人及び団体は、次のとおりです。

皆様のこれまでのご功績に敬意を表するとともに、今後ますますのご活躍を期待いたします。

島根県各種功労者(島根県知事)	隠岐の島町	野津	大さん
「みどりの日」自然環境功労者(環境大臣)	奥出雲町	横田	山の会
自然公園指導員(環境省自然環境局長)	隠岐の島町	中上	コフミさん
環境保全功労者知事感謝状	松江市	高井	允宏さん
	大田市	はまなす	を守る会

## 新たな出会いと感動を力に自然公園指導員/澤田 寿子

“今日も楽しかった!山を歩くと癒されるね”歩く度に新たな出会い、感動があり、時には呆れ、怒りを爆発させることも……。数え切れない出会いの中からその一部を紹介します。

- \* 雪の天狗山で、赤い実をつけたイイギリの大木を見つけ感動し、山歩きを止められないという80歳の女性。
- \* 虫眼鏡で見た小さな世界。その美しさと精巧さに、声をあげ見入っている仲間達。
- \* 高瀬山・三郡山で出会った、山道の保全整備をする地元の有志の人達。必要な人の手が入った山はとても清々しく、高瀬山のササユリも見事です。
- \* 期待して登った船通山では、ササユリ盗掘の大きな穴。人として情けない。
- \* 初めて山を歩いた男性は、出雲北山のあまりの荒廃ぶりに、いつも見ている山の中がこんな状態だったとは…と驚き、ショックを受けていました。

多くの人達に自らの五感を通して身近な自然を知ってもらいたい。そこから何かが始まることを期待して……。私は楽しみながら山を歩いています。



船通山で初めて見たショウキラン(鐘馗蘭)



虫眼鏡で見たヤナギの花序

## 県内の自然公園 災害復旧進む

平成18年7月の局所的な集中豪雨により、比婆道後帝釈国定公園の船通山は大きく被災し、鳥上滝コースの一部が崩壊したり、流木や土砂が堆積した状態が長い間続いていました。



復旧した船通山登山道

そこで、平成20年度に本格的な復旧工事を行い、堆積土砂・流木等を撤去、自然石により石積や排水路を補修して、登山道が大幅に改善されました。

島根県の自然公園は、平成18年度から19年度にかけて各地で豪雨災害などに見舞われましたが、今年度立久恵峡のつり橋や、国賀浜の道路、西郷岬の園地などで復旧が進み、安全に通行できるようになりました。



きれいになった船通山鳥上滝

## オニバスの保護活動

オニバスは漢字では「鬼蓮」と書き、その名の通り鋭い棘で覆われた直径2メートルにもなる大きな葉を持つ水生植物です。昭和30年代まで、松江城のお堀にも群生しましたが、現在県内では松江市内の1つのため池にしか自生していません。除草剤の使用とアメリカザリガニなどの外来生物の持ち込みによって、徐々にその数を減らしてきたと考えられ、全国的にも、絶滅のおそれのある植物とされています。

このオニバスを守るため、県自然環境課では鳥根大学と協力して再生活動に取り組んでいます。平成19年度から松江市周辺のため池にオニバスの苗を移植し始めたところ、平成20年度は3箇所ですべて順調に生育し、種子もつけました。

自然が「豊か」と言われる鳥根県でも、絶滅の危機に瀕する動植物が数多くあります。これからも希少動植物の保護活動を通じて、豊かなしまねの自然を守っていきます。



移植地で生育したオニバス



移植地で咲いたオニバスの花

## 「みんなで調べる鳥根の自然調査」～今年はテントウムシ

県民のみなさんと一緒に身近な生物の分布調査を行い、自然に対する関心を高めてもらう「みんなで調べる鳥根の自然調査」。2008年はテントウムシの模様について調査を実施し、1,521名もの参加をいただきました。

調査の結果、最も多く確認されたのはナミテントウ(57%)で、その内4割強が2紋型でした。ナミテントウの模様の割合は地域によって異なりますが、過去に研究者が広島県で調べた結果と比べ、鳥根県は2紋型が比較的少ないという結果になりました。今回の調査では、やや見つけにくい模様のテントウムシも熱心に探していただいたため、結果として2紋型の出現率が低くなった可能性もあり、今後の詳しい調査が期待されるようです。

調査結果は三瓶自然館サヒメルのHPで公開していますので、ご覧ください。

[http://nature-sanbe.jp/sahimel/shimane\\_field\\_survey/2008\\_ladybug/index.htm](http://nature-sanbe.jp/sahimel/shimane_field_survey/2008_ladybug/index.htm)



## 「自然環境整備交付金」を活用した施設整備 ～21年度より五カ年計画スタート～

この事業は、国定公園内または中国自然歩道沿線で、県または市町村が施設整備する事業費に45%の交付金が交付される環境省の補助事業です。

交付対象は、歩道、園地、休憩所、野営場、駐車場等の整備です。鳥根県では、3市町村の事業を盛り込んだ5カ年の整備計画を策定し、平成21年度から事業開始の予定です。整備計画への追加は随時可能であり、老朽自然公園施設のリフレッシュ等への活用が期待されています。



# 日本一の海～ロケ地となったしまねの自然公園(西ノ島町)～

SMAPの中居正広さん、人気女優の仲間由紀恵さん主演の映画「私は貝になりたい」で幾度となく映し出される絶景は、隠岐・国賀海岸です。映画の撮影にあたって「独自のスケール感を表現するには、海だけではなく大地もしっかりしている、『日本一の海』を探さなければならなかった」と話す福澤克雄監督。日本全国を回ってようやく見つけたのが国賀海岸でした。島根県自然公園協会で作成した「しまねの自然お宝MAP」の表紙にも使われ、牛馬の放牧で保つ草地景観が評価され、「にほんの里100選」にも認定されています。

雄大な島の景色と鳥のおいしい空気をより多くの人に現地でご覧いただければと思います。隠岐・西ノ島にお越しください。



国賀海岸夕景



馬の放牧風景(国賀海岸)

※島根県の自然公園は、このほかに映画「うん、何?」やNHKのドラマ「だんだん」などでもロケ地として使われました。



しまねの自然お宝MAPの表紙



映画「うん、何?」に出てくる龍頭が滝(雲南市)

## 違法採取相次ぐ(ササユリ、ツメレンゲ)

自然を満喫しようと公園を訪れたのに、花が無惨に抜きとられていたらがっかりです。それが貴重な植物ならなおさらです。植物の立場になるとそのショックは計り知れず、厳しい環境を生き抜いて、やっと花を咲かせたところを切り取られては、たまったものではありません。



平成20年6月、比婆道後帝釈国定公園・船通山において、採取が禁じられているササユリが大量に盗掘されました。10月には立久恵峡県立自然公園において、採取が禁じられているツメレンゲが数本切り取られています。



ササユリが掘られた跡

いかにして動植物を違法採取の手から護るのか、いかにして公園利用者のモラルの向上を図るのかということが課題ですが、けなげに咲く花をそっと見守ってあげようというあたたかい心を持っていただくことが理想です。

### 今年のワッペン(ササユリ)について

今年の「みんなで守ろうしまねの自然」ワッペンは、違法採取が相次ぐササユリを選びました。美しいササユリを持ち帰りたいという人、ワッペンをさしあげますので、どうかもうこれ以上花を持ち帰らないでください。  
※今年もデザインは、岡本健一さんをお願いしました。ありがとうございます。



切り取られたツメレンゲ